



藤紫



藤枝市立藤枝中学校 学校だより
令和5年度 全国学調特別号

市のHPからも見られます！

全国学力・学習状況調査 本校の結果・考察

藤枝中学校では、教科の本質に迫り、教科特有の考え方やものの見方を身に付け、思考力・判断力・表現力の育成を目指して、日々授業を行っています。また、生徒一人一台のタブレット端末を効果的に活用することで、よりそれらの力の育成を図ることができるのではないかと研修を重ねています。

本年度4月実施の全国学力・学習状況調査における本校3年生の結果と考察を報告します。これらを生かし、日々の授業において、実態に応じたきめ細かい指導を今後も継続しながら、生徒一人一人に学習内容が定着していくよう努めていきます。また、ご家庭とも連携しながら、結果のみでなく、日頃からの学習への取組や生活習慣等についても励ましやアドバイスを行い、次の一歩へ繋げていきたいと考えています。

全国学力・学習状況調査とは？

文部科学省が、全国的に子どもたちの学力状況を把握するために平成19年度から実施しているもの。

【目的】

- ①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

教科に関する状況

全国と県の平均正答率と比較して見えてきた本校3年生の状況

★★：平均を大きく上回る(+3%以上) ★：平均を上回る(+3%未満)

—：平均と同程度(±1%)

▽：平均を下回る(-3%未満)

▽▽：平均を大きく下回る(-3%以上)

国語	県との比較	全国との比較
	★★	★★

- 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握する問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲目的や場面に応じて質問する内容を検討する問題で課題が見られた。
- ▲文脈に即して漢字を正しく書く問題と記述式問題の間で無解答率が10%を超えた。

数学	県との比較	全国との比較
	★★	★★

- 自然数や累積度数の意味についての問題や数と整式の乗法の計算の問題では、いずれも県・全国平均を大きく上回った。
- 事柄が成り立つ理由の説明や証明をしたり、成り立つ事柄を見出して説明したりする問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ったり、事象に即して解釈したりする問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲5問の記述式問題の内、20%を超える無解答が見られた問題が3問あった。

英語	県との比較	全国との比較
	—	★
話すこと	▽	

- 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 必要な情報を正確に読み取ったり、事実と考えを区別して読んだりする問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 未来表現の肯定文を正確に書く問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲情報を正確に聞き取ったり、置かれた状況下で必要な情報を聞き取ったりする問題で課題が見られた。
- ▲社会的な話題に関して、考えとその理由を書いたり、英文を依頼する表現に書き換えたりする問題では、無解答者が20%を超えた。
- ▲「話すこと」テストでは、平均正答数が5問中 0.5 問だった。(全国は 0.6 問)

生活に関する状況

全国と県の平均回答率と比較して見えてきた本校3年生の状況

- ★★:平均を大きく上回る(+3%以上) ★:平均を上回る(+3%未満)
 - :平均と同程度(±1%) ▽:平均を下回る(-3%未満) ▽▽:平均を大きく下回る(-3%以上)

項目	県比較	全国比較
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	★★	★★
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	★	★
自分には、よいところがあると思う。	★★	★★
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	★★	★★
自分と違う意見について、考えるのは楽しいと思う。	★★	★★
家で自分で計画を立てて勉強(学校の授業の予習や復習を含む)をしている。	★★	★★
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強する。	★★	★★
読書は好き。	★★	★★
今住んでいる地域の行事に参加している。	★★	★★
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	★★	★★
学校の授業では、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した。	★★	★★
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んできた。	★★	★★
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	★★	★★
学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	★★	★★
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	★★	★★
朝食を毎日食べている。	▽	—
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	▽▽	▽
将来の夢や目標を持っている。	▽	▽
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	▽	▽

まとめ

国語・数学の学力調査において、多くの項目の正答率が県・全国平均を上回りました。日々の授業において、課題を自分事として捉え、自分の考えをもてるような授業実践や、その考えを友達と共有したり比べたりして深め合う活動を大切に、学校全体で継続的な取組を重ねてきた成果と考えられます。今後も「藤枝が目指す授業」で大切にしている「主体的で対話的な深い学び」を実践し、確かな学力を身に付けさせていきたいと思えます。英語では、「読むこと」「書くこと」の正答率は県・全国を上回りましたが、「聞くこと」は下回りました。全国的にも同様ですが、「話すこと」にも課題があります。聞く・話す力を高めるためには、より多くの英語を聞き、発話することが必要です。ALT や ICT 機器を活用し、英語を聞いて発話する機会と量を増やしていきたいと思えます。今後も、藤枝市の「授業で人を育てる」という共通理念のもと、未来を生き抜くための確かな学力や社会性、道徳性を身に付けることをめざします。

生徒質問紙からは、「授業」「学級活動」「道徳」で話し合い活動が活発に行われている中で、互いの良さを認めたり、自分の考えを深めたりすることにつながっていると考えられます。それが、「自分には、よいところがある」と感じている生徒が多いことに表れていると考えられます。また、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んできた」「家で自分で計画を立てて勉強(学校の授業の予習や復習を含む)をしている」と答えている生徒が多く、生徒が主体的に学習に取り組んでいる様子が伺われます。「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した生徒は多いですが、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」という回答率は、県や全国を下回りました。この結果を真摯に受け止め、より一層生徒一人ひとりに目を向け、積極的に関わり、活動の価値づけをしていきます。

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思っている生徒の割合が昨年度よりも高くなっています。今年は大祭をはじめ、ふれあいまつりや PTA 活動、防災訓練など、以前のように地域との関わりをもつことが増えました。そういった地域の方々とのつながりや日頃の見守りや励ましなどの温かな支えが、生徒たちの健やかな成長に繋がっています。引き続き、学校・家庭・地域が「はばだけ！ふるさとの誇りを担う子どもたち」のキャッチフレーズのもと連携し、生徒たちの成長を見守っていきたく思います。それが生徒たちの夢や希望につながると信じています。今後も、よろしく願います。